

謹賀新年



美浦村長
中島 栄



新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、新しい年をご健勝にてお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

本年も皆さまのご期待に応えられるよう「人と自然が輝くまち 美浦」の村政運営の先頭に立ち、行政と議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

昨年は、昭和30年の美浦村誕生からこれまでの歩みを振り返る美浦村制施行70周年記念式典や、「競走馬の里」の象徴として馬の魅力を楽しむ美浦村UMAフェスタの開催など、様々なイベントを多くの関係者のご尽力のもと実施することができました。また、木原小学校、安中小学校、大谷小学校の3校の歴史を引き継いで美浦小学校が開校し、伝統ある本村において新たな歴史が始まった記念すべき年になりました。

一方、国際・経済情勢の変化に伴う食料品や日用品などの物価高騰により日常生活に大きな影響が及んだ年でもあり、依然として現在も厳しい状況が続いております。そうした中で、

本年も皆さまの暮らしを支えるための支援を整え、地域の活性化のために村一丸となって務めてまいります。

近年増加傾向にある自然災害については、昨年も日本各地に大きな爪痕を残しました。2月には岩手県で平成以降最大規模の山林火災が起き、鎮火に1か月以上を要しました。また、8月に九州で発生した記録的大雨は、特に熊本県に甚大な被害をもたらし、広範囲で住宅や農作物への冠水被害がでました。台風、噴火、地震、積雪等の災害がいつ起こるか予測するのは非常に困難です。

「備えあれば憂いなし」、本村では、想定外の有事にも対応できるよう、防災訓練等を村民の皆さまが参加・体験できる形で実施してまいります。皆さまにおかれましても防災意識を高く持ち、いざという時に速やかに行動できるよう日頃からの備えをお願いいたします。

全国の市町村では、少子高齢化が進み、深刻な状況が続いています。しかし、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていかなばなりません。魅力ある地域社会を継続していくためには、村民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展につながります。

今後も「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らが村づくりに参加され、「自分たちの村は、自分たちで創り守る」を念頭に、ともに発展していくよう、協働のまちづくりを推進してまいります。

結びに、村政へのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和八年 新春

